ペンダント型スピーカーシステム

Control 60 Series 取扱説明書

対象製品型番

・Control 62P
・Control 65P/T
・Control 67P/T
・Control 67HC/T

このたびは、JBL PROFESSIONAL「Control 60 Series」ペンダント型スピーカーシステムをお買上げいただき、ありがとうございます。ご使用になる前にこの設置説明書を必ずお読みになり、内容をよくご理解された上で正しくお使いください。

安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

・スピーカーを水に入れたり、濡らさないでください。火災・感電の原因となります。

・取り付け工事は建築関連法に則り、技術と経験を持った専門業者が行ってください。

・建物の梁など重量に耐えられる場所に取り付けてください。強度が不十分な場合には落下事故の原因となります。取り付け場所の選定には十分注意し、補強作業を施して安全を確認した上で取り付けてください。

・振動する場所、油の付着しやすい場所、風呂·シャワー室など湿気の多い場所やほこりの多い場所には設置しないでください。金具の劣化による落下や火災の原因となります。

・可燃性ガスが発生する場所で使用しないでください。爆発し、火災やけがの原因となります。

・配線は正しく行ってください。誤配線によるショートなどは火災の原因となります。

・過大入力を加えないでください。火災の原因となり危険です。

・分解や改造は行わないでください。分解や改造は保証期間内でも対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。

・接続ケーブル類が傷んだら (芯線の露出、断線など) 交換してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

・煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、破損したなどの異常があるときは、ただちにパワーアンプの電源を切って使用をやめ、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

注意

人が障害を負う可能性及び物理的障害が発生する可能性が想定される内容です。

・万一、落としたり破損が生じた場合は、取り付けずに修理を依頼してください。そのまま取り付けると、火災や落下の原因となることがあります。

・配線はアンプの電源を切ってから行ってください。感電の原因となり危険です。

・ネジなどの固定部位の締め付けはしっかり行ってください。部品の落下などでけがや器物破損の原因となります。

・グリルを取り付けた後、本体とグリルの間に緩みが無いことを確認してください。緩みがあるとグリルが落下し、けがや器物破損の原因となります。

・パワーアンプの電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

・長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

・取り付け部が劣化すると、落下などの原因となります。定期的に点検をしてください。

・廃棄は専門業者に依頼してください。燃やすと化学物質などで健康を損ねたり火災などの原因となります。

※スピーカー本体の不良以外で発生した事故や注意事項を無視して発生した事故、設置方法の不備による落下などの事故に対する責任は一切、弊社は負いかねますのでご了承ください。

はじめに

＊取扱説明書 (本書) をお読みください。

ご使用いただくまえに必ず本書をお読みください。内容をよくご理解された上で、正しくお使いください。

＊保証書について

●保証書は必ず「お買い上げ年月日」「お買上げ店名 / 所在地」の記入をご確認いただき、製品とともにお受け取りください。お買い上げ日より 2 年間は保証期間です。保証書記載事項に基づき、無償修理等を保証させていただきます。修理等はお買い上げの販売店までご依頼ください。

●お買い上げ時に「お買い上げ年月日」「お買上げ店名 / 所在地」が正しく記入されていない場合は、保証書が無効になり、無償修理を受けられないことがあります。記載内容が不充分でしたら、速やかに販売店にお問い合わせください。

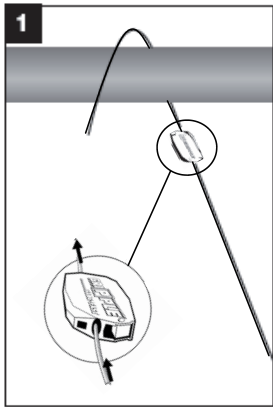
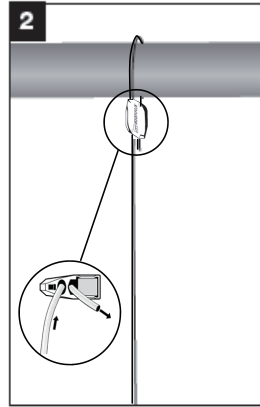
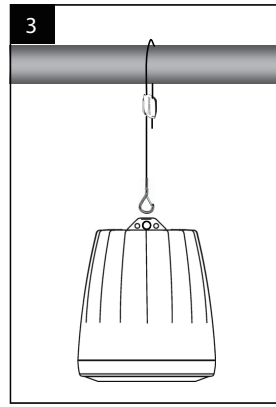
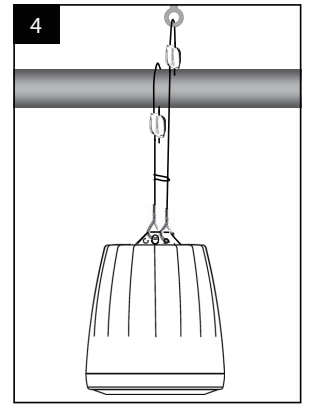
●改造など通常の使用範囲を超えた取り扱いによる、設計製造以外の要因で起きた故障や不都合は、期間内であっても保証の対象外となります。

スピーカーの設置方法

注意：取り付け工事は建築関連法に則り、技術と経験を持った専門業者が行ってください。

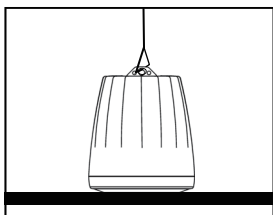
※サスペンションシステムは、製品に付属しています。スピーカー 1 本につきメインとサブのサポートケーブルがあります。

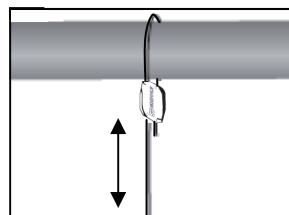
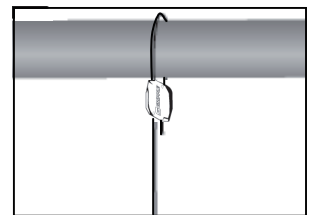
GRIPPLE® のサスペンションシステムを使用しています。

c UL us LISTED
File No. E228153
Luminaire Fittings
File No. E251132
Conduit & Cable Hardware

GRIPPLE にメインサポート・ケーブルを通し、梁や建物の安全なポイントにかけます。

1 のケーブルを GRIPPLE のもう片方の穴に通します。

スピーカーの吊り下げ金具の中央の穴にメインサポート・ケーブルのフックをかけて、スピーカーを吊り下げます。GRIPPLE で長さを調節します。

スピーカーの吊り下げ金具の端の穴にサブサポート・ケーブルを取り付け、1･2 と同じ手順を踏んで建物の構造物の別の場所に取り付けます。長さを調節し、余分なケーブルを切り落とします。

⚠ 注意：GRIPPLE の向き・通す穴にご注意下さい。

入れる場所を間違えると、スピーカーの重量がかかった瞬間に抜けてしまい、危険です。

リリースキーの使い方：スピーカーの高さを調整します。

スピーカーがきちんと吊り下げられているかどうか、確認します。

GRIPPLE の先端にある小さな穴にキーを差し込みます。ケーブルを放すため 5mm ほど押します。

スピーカーの高さを調整します。

キーをはずし、スピーカーの状態を再確認します。

同梱のサスペンションシステムは、

セーフティファクター 10：1

に対応しています。

仕様

型番	Control 62P	Control 65P/T	Control 67P/T	Control 67HC/T
周波数レンジ (-10dB)	150Hz ～ 20kHz	55Hz ～ 20kHz	58Hz ～ 18kHz	75Hz ～ 17kHz
カバレージ角 (1.5kHz ～ 10kHz 平均)	140° (+25° /-50°)	120° (+20° /-10°)	120° (+20° /-10°)	75° (+15° /-20°)
許容入力 (プログラム / ピンク)	30W / 15W	150W / 75W	150W / 75W	150W / 75W
感度	84dB(2.83V)	86dB	90dB	93dB
最大音圧レベル	97dB SPL	105dB SPL	109dB SPL	112dB SPL
公称インピーダンス	16 Ω	8 Ω	8 Ω	8 Ω
トランス・タップ 100V	—	60W,30W,15W	60W,30W,15W	60W,30W,15W
70V	—	60W,30W,15W,7.5W	60W,30W,15W,7.5W	60W,30W,15W,7.5W
ドライバー構成	60mm	LF:130mm HF:20mm	LF:165mm HF:25mm	LF:165mm HF:25mm
色	黒または白 (-WH)	黒または白 (-WH)	黒または白 (-WH)	黒または白 (-WH)
入力コネクター	ユーロブロック	ユーロブロック	ユーロブロック	ユーロブロック
寸法 (φ× D)	128 × 121mm (除突起部)	234 × 259 m m (除突起部)	312 × 330mm (除突起部)	333 × 344 m m (除突起部)
質量	0.7kg	3.7kg	5.2kg	5.9kg
付属品 (※)	サポートケーブル	サポートケーブル	サポートケーブル	サポートケーブル
オプション	MTC-PC62 : トップパネル / ターミナルカバー	MTC-PC60 : トップパネル / ターミナルカバー	MTC-PC60 : トップパネル / ターミナルカバー	MTC-PC60HC : トップパネル / ターミナルカバー

※）サポートケーブルは、スピーカー 1 本につき 2 本ついています。
Control 60 Series は、2 本 1 組の販売ですので、合計 4 本が付属しています。

●この製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。

15/02

http://www.hibino.co.jp/
E-mail: proaudiosales@hibino.co.jp

ヒビノ株式会社　ヒビノプロオーディオセールス Div.

営業部
〒108-0075 東京都港区港南3-5-12
TEL: 03-5783-3110　FAX: 03-5783-3111

大阪ブランチ
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8
TEL: 06-6339-3890　FAX: 06-6339-3891

福岡ブランチ
〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚4-14-6
TEL: 092-611-5500　FAX: 092-611-5509

札幌オフィス
〒063-0813 北海道札幌市西区琴似三条1-1-20
TEL: 011-640-6770　FAX: 011-640-6776

名古屋オフィス
〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南3-4-26
TEL: 052-589-2712　FAX: 052-589-2719